

今号では都そば前の改善策について考えます。

昨年11月17日大池コミュニティプラザに於いて開催された「刀根山道のこれからを考える会」では、以下のような豊中市の道路建設課からの説明とやり取りがありました。

<説明>

○信号設置について

- ・平成18年バリアフリー基本構想で位置づけ、平成19、21年に協議会や自治会等から要望もあり、設置に向け進めている。
- ・現在、豊中警察署の信号設置の優先順位はこの交差点部が1位。それを大阪府警に上げてもらっているが、大阪府全域での話になるので、採用の時期は解らない。
- ・警察には、来年5月の設置ということで要望して

いるが、来年度になるかもしれない。

○信号が設置された場合

- ・横断歩道を3方向に設置する方向で検討している。都そばから新開地ビルとボゼムビル、ボゼムビルから新開地ビルの3本となり、富士カメラ前にある横断歩道は廃止する。
- ・横断歩道は歩車分離式信号となる。歩行者の青の時間が長くなり過ぎるため、スクランブルにはしない。

<質問と返答>

・舗装工事と横断歩道の関連は？

→摂津水都信用金庫の前あたりが今回の舗装の境目となる。信号設置が認可されるまでは、横断歩道部の舗装には手をつけられない。

・国道176号の信号との関連で、新設信号機の信号待ちのため、176号の方に車の行列ができ、あふれ出すことはないか？

→悩ましい部分であるが、2つの信号を連動させて考える必要がある。また、時間帯によって、青の時間帯を変えるなどして対応していく必要があるだろう(朝と昼によって、青のタイミング、秒

数を変えるなど)。176号からの車の流入量は、南側と西側からが多い。この2方向が青の時に新設信号も青であれば、捌けるが、そうすると歩行者の青の時間が少なくなる。

・信号の設置を待たずに、先行して横断歩道の設置はできないか？

→基本的に交差点に2方向以上の横断歩道を設置する場合は、信号を設置する規則があり横断歩道だけで先行はできない。運転者が歩道に気づかず、かえって危険である。

<参加者からの意見>

・富士カメラ前の横断歩道が無くなれば、不便な人もいる。

・手前の現在のスクランブル交差点で、銀座通りに入る車、またはバスのいずれかを大池小学校側

へ誘導できないか。

・そのためには、まちづくり構想や市の基本方針にあった「南吉野線の延伸」(駅への新道)が必要ではないか。

今後、都そば前の改善も、市と地元が協力し最善策を考えて行きます。ゆっくり楽しく歩き回れるまちを目指して、通りの改善に取り組むため、今までの議論や歩行者アンケート、専門家の意見などから、明らかになってきました。取り組むべき課題は次のようなものと考えています。

1. 銀座通りについて

- ①入ってくる車の数を制限したり、速度を落とす工夫により、往来しやすくする。
- ②車道の一部を歩道側に広げ、自転車と歩行者を分ける。
- ③車道に路上駐車帯をとところどころ設ける
- ④まずは、歩道上のはみ出しを整理する。
- ⑤「歩道は自転車から降りて押し通る」呼びかけの徹底化。



2. 一番街(刀根山道)について

- ①都そば前の改善策に連動して、一方通行化を検討し、歩行者にとって安全な商店街にする。
- ②今回の舗装工事をチャンスにして、歩道の段差解消とはみ出しの撤去。
- ③路上駐車制限。

商店街通りは、商業者と買い物客や、通勤、通学、街歩きをする方など、市民みんなのものです。通行しやすい歩道や車道もみんなが望むところです。通りの改善は互いに知恵を出し合い、不具合があれば譲り合いの精神で、折り合いを付け、一つずつ解決しましょう。

刀根山道の補修工事が完成し、車道の凹凸も無くなり、歩道の段差やうねりも改善されて、安全で快適な通りが実現されると、商店のにぎわいも更に増すでしょう。

市の決意と商店さんの心意気、さらに住民の熱意が試されています。改修工事が順調に進み、完成後に後悔のないようみんなで協力し、見守りましょう。

豊中駅前まちづくり推進協議会

連絡先

FAX: 06 - 6858 - 6190 / メール: at.machi@mail.tmconet.com

**会 員
募 集 中**

共に、生き生きとした、誇りが持てる、安心して
住み続けられるまちづくりを進めませんか

年会費(一口以上何口でも)
個人会員 一口 300円
商店会員 一口 1,000円

問い合わせ先:
まちづくりセンター
TEL / FAX: 06 - 6858 - 6190